

新たな学校づくり 薬師・金井地区意見交換会Q&A集

番号	項目	質問	回答
1	通学	中学校は通学路が無いので、通学に際してどのような安全対策を考えていますか。	現在中学校においては通学路を設定していません。小学校を対象にして実施している通学路点検において、安全対策を講じていることから、中学生の通学経路においても、一定の安全確保は図られていると考えています。 通学距離が長くなることにより、部活動後の時間に照明が暗く暗い箇所があるなど具体的な危険箇所がございましたら各管理者をご案内いたしますのでまずは教育委員会にご相談ください。
2	通学	学校統合により通学距離が長くなります。子どもたちの通学の負担を軽減する配慮はありますか。(スクールバスによる通学や自動車での送迎や自転車での通学はできますか。)	町田市内の小中学校においては、原則自転車通学を認めておらず、原則徒歩で通学することとしています。通学距離が長い場合には、公共交通機関の活用をしています。通学距離が長くなることによる、通学の負担を軽減する方法として、公共交通機関のさらなる活用や公共交通機関以外の負担軽減策についての検討を行います。 このような通学の負担軽減は各地域で通学距離や道路事情などが違うことから、新たな通学区域に設置している「新たな学校づくり基本計画検討会」において、地域の実情やニーズを踏まえて検討・議論します。 また、指定校以外の学校への入学を希望する制度もありますので、「まちだ子育てサイト」で制度の内容をご確認ください。 ■通学区域緩和制度 https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/253.html ■就学指定校変更制度 https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/256.html
3	通学	通学の基本は徒歩とのことだが、バス通学をする場合に、通学費の補助などはありますか。	通学費補助制度については、2.0km以上の通学距離(自宅-乗車バス停-バス運行区間-降車バス停-学校の合計)の場合、1ヶ月の通学定期代の2/3の金額を補助しています。
4	通学	現在、子どもは在学していませんが、通学区域が変更となる地域に住んでおり、通学するタイミングでは既に統合している状態です。もともと通学する予定の学校の方に通学することはできますか。	通学区域変更後に入学される場合は、原則通学区域変更後の指定校に入学することになります。ただし、指定校以外の学校への入学を希望する制度もありますので、「まちだ子育てサイト」で制度の内容をご確認ください。 ■通学区域緩和制度 https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/253.html ■就学指定校変更制度 https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/256.html
5	通学	学校統合により通学距離が遠くなります。自宅から最寄りの学校に通学をさせたいのかもしれませんが。	中学校に入学する時点で、指定校以外の中学校への通学を希望することができます。詳しくは、「まちだ子育てサイト」で制度の内容をご確認ください。 ■通学区域緩和制度 https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/253.html
6	通学	学校統合で学校までの距離が遠くなることから、保護者活動や学童保育のお迎えなどの際に自動車や自転車を利用できますか？	新たに建設する学校においては、来校者が利用できる駐車場及び駐輪場を可能な限り整備していきたいと考えています。 なお、保護者の自動車や自転車利用は、駐車場・駐輪場の有無や広さ、周辺の道路交通事情など、学校ごとに実情が異なることから、学校が個別に判断していますので、利用方法については実情を踏まえて検討します。 また、学童保育クラブは、それぞれの方針で近隣の駐車場、コインパーキング等を利用して自動車でお迎えを可能にしている例もありますが、基本的には1人で通所し1人でご帰宅することを想定しており、駐車場はありません。そのため、学童保育クラブ以外に利用する場合と同様に、学校ごとの実情を踏まえて利用方法を検討する必要があると考えています。
7	通学	統合の影響を受けるため、通学区域緩和制度を申し込むが、優先的に通るようにしてほしい。	学校施設の状況等を勘案し、各学校ごとに通学区域緩和制度により入学が可能な人数(以下「受入枠」)を設定します。受入枠を超える申請があった場合は、公平に公開抽選を行います。可能な限り受入枠を設けられるよう努めてまいります。 また、通学区域緩和制度の受入枠数に関わらず、以下の制度の要件に当てはまる場合については、希望する学校への入学が認められます。詳しくは、「まちだ子育てサイト」で制度の内容をご確認ください。 ■就学指定校変更制度 https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/256.html
8	通学	通学区域緩和制度を利用した場合でも、通学費補助は受けられますか。	通学区域緩和制度を利用した場合については通学費補助は受けられません。
9	通学	通学区域が変更となる地域に住んでいますが、もともと通学していた学校と今後通学する予定の学校を選択することはできますか。	在学中に通学区域が変更になった場合は、もともと通学していた学校(が統合してできる新設校)と、通学区域変更後の指定校から、通学する学校を選択できます。
10	学校施設	新しい学校施設は、鉄筋コンクリート造か木造でしょうか。	今後行う建設基本計画等の中で、木造や部分的に木造を使用する混構造などの構造を検討し、決定する予定です。また、構造によらず、屋内についてはできるだけ多くの部分で木質化していきたいと考えています。
11	学校施設	新しい学校には駐車場を整備して欲しい。	新たな学校づくり推進計画に基づき整備する学校については、必要な学校施設や校庭の広さを確保しながら、駐車場を整備してまいります。

12	教育環境	仮校舎を使用する期間でも同水準の教育環境が維持できますか。	仮校舎には、普通教室や特別教室など、必要な教育環境を整備します。また、仮校舎使用中の学級数は 本町田地区：18学級（仮校舎使用期間：2025年度～2027年度） 南成瀬地区：21学級（仮校舎使用期間：2025年度～2027年度） 鶴川東地区：22学級（仮校舎使用期間：2029年度～2032年度） 鶴川西地区：24学級（仮校舎使用期間：2026年度～2028年度） 南一小地区：25学級（仮校舎使用期間：2027年度～2029年度） 葉師金井地区：15学級（仮校舎使用期間：2027年度～2029年度） と推計しており、既存校舎を仮校舎とする場合は、校舎の状況に応じて、空き教室を改修するなど、児童数に応じた対応を行い、必要な教育環境を整備します。 なお、児童数が増えることにより、運動会の開催時程が午後にわたることや、組み分けの変更などの可能性はあります。 また、校庭に仮校舎(プレハブ)を建築する際に万が一校庭の面積が不足する場合(運動会等)は、代替施設の利用を検討します。
13	教育環境	クラス数が増えると、英語や数学、算数、音楽などの決められた先生が行う授業の時間割は組めますか。特別教室の数を増やすなどの工夫はできますか。	時間割については、クラス数が増えても、これまでと同様に各教科の学習の機会が保障されるように組んでまいります。学校により学級数に差があるため、特別教室の数は学級数に応じて設置する予定となっています。また、英語や数学、算数の少人数・習熟度別指導に対応できるよう、新たな学校では1校に少人数教室を3室確保します。
14	教育環境	学校ごとに指導方法や教材、評価の仕方などの違いがあると思いますが、学校統合するときには配慮してもらえますか？	各学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえて指導方法や教材を工夫し、児童・生徒の学習状況を適正に評価しています。学校統合後につきましても、統合する学校の教員同士で生徒の学習状況等を共有し、よりよい指導と適正な評価ができるよう、年間の指導計画や評価規準を検討します。
15	教育環境	統合する際のクラス編成について、旧学校ごとにクラス編成をしてほしいです。	クラス編成については、生徒一人一人について情報を共有するとともに、旧学校の人数に片寄りが生じないよう、学年全体のバランスを考えて編成します。
16	教育環境	仮校舎として使用される学校のインターネット環境が悪いため、改善をしていただけますか。	学校統合にあたり、旧学校で使用していたネットワーク機器を仮校舎に集約し、アクセスポイントの総台数増加を図る予定です。その際、今まで電波が届いていなかった箇所にアクセスポイントを設置するなど、インターネット環境が改善されるよう配置を検討してまいります。
17	教育環境	新校舎建設期間中のプールの授業はどのように行うのでしょうか。	新校舎建設期間中の水泳授業について、敷地内にプールがある場合は、そのプールを利用します。しかし、敷地内にプールが無い場合は近隣校のプールを利用する等、プール授業ができるよう検討します。 葉師・金井地区統合新設中学校の新校舎は、現在の金井中学校の敷地内に建設する計画です。建設工事期間中は、現在の葉師中学校を統合後の仮校舎として使用します。そのため、現在葉師中学校にあるプールをそのまま使用します。
18	給食	中学校のお昼ご飯は給食ですか、お弁当ですか。	中学校の昼食は2024年度2学期までは選択制ランチボックスまたは自宅から持参したお弁当です。 葉師中・金井中は2024年度3学期から、鶴川地区に建設する給食センターから配送される小学校のような食缶形式の全員給食になります。
19	給食	新しい学校施設に給食室は造られますか。	中学校の施設内に給食室は作りません。給食は新たに鶴川地区に建設する給食センターで作り、中学校に配送します。
20	制服	制服はいつから新しい制服になりますか。	新たな学校の開始年度から新しい制服になります。新1年生は新しい制服を着用することになりますが、2年生、3年生については、これまで使用していた制服を使用してもよいこととします。
21	制服	制服のおさがりなどの活用はできますか。	制服のおさがり等の対応については、積極的に検討いたします。
22	部活動	部活動はどのように統合されますか。	両校の部活動が円滑に統合できるように、事前検討会等を実施し、決めていきます。
23	部活動	統合した後、どの部活動がありますか。	現段階でどの部活動が発足されるかは、決まっておりません。部活動については、両校の生徒の要望も聞きながら、どのような部活動が発足させるかを事前検討会等を実施し、決めていきます。
24	部活動	統合前から、部活動同士の練習や合同チームによる試合などを行いますか。	部活動同士の練習については、練習試合や合同練習等を定期的実施したり、部員がそろうずに、試合に出場できない種目については、合同チームを発足したりし、試合に出場することも検討いたします。
25	部活動	通学距離が伸びるため、朝練に参加できないことが想定されるが、どのような対応をしてくれるのか。	朝練の有無は、それぞれの部活動の実施計画等で確認できます。また朝練は、1週間の内多くても2回程度と想定しています。部活動以外の教育活動によって朝練に参加できない生徒がいます。部活動は、生徒の自主的・主体的な活動であるため、参加できないことでペナルティが課されることはありません。
26	防災	学校統合後、学校が遠くなるため、子どもが学校で地震にあった場合の対応が心配です。災害時の対応はどうなりますか？	地震が発生した場合、各学校では学校危機管理マニュアルに基づき、児童・生徒の安全を最優先に考え、地震に対しての対応を図ります。災害時の規模や、学区の被害状況により、集団下校または保護者への引き渡しを行います。町田市としては、原則として、東京都（町田市）の震度が5弱以上で、保護者への引き渡しとしています。また、地震の発生により、公共交通機関、特に小田急線や横浜線が終日不通になる場合や、復旧が遅くなるのが想定される場合には児童・生徒は原則として学校待機とし、その後、保護者等へ引き渡す流れとなっています。

27	教員	<p>小学校の学級数に応じた教員の配置数を教えてください。 学級規模が大きいほうが、教員の負担が大きいのではないか。</p>	<p>教員の数は、東京都教育委員会が定める「教職員定数配当基準」に基づき、学級数に応じて基本の数が配置されます。 なお、特別支援学級(固定級)が設置される場合も同様で、特別支援学級(固定級)の学級数（児童・生徒8人で1学級）に応じた数の教員が配置されます。具体的には、「学級数+1人」分の教員が配置されます。ただし、児童・生徒数が2人以下の場合は「1人」、中学校については4学級以上の場合は「学級数+2人」分の教員が配置されます。</p> <p>学年ごとの事務は学級数が多ければ学級担任の人数で分担することができるため、一人当たりの負担が軽減されます。 また、学校の分掌事務は、教員数が多くなるほど分担して行うことができるので、一人当たりの負担が軽減されることになります。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の場合の教職員の数 通常学級が16学級の場合、校長1人、副校長1人、教員18人、養護教諭1人、というのが基本の数となります。 通常学級が18学級の場合、校長1人、副校長1人、教員21人、養護教諭1人、というのが基本の数となります。 通常学級が24学級の場合、校長1人、副校長1人、教員27人、養護教諭1人、というのが基本の数となります。 ・中学校の場合の教職員の数 通常学級が9学級の場合、校長1人、副校長1人、教員14人、養護教諭1人、というのが基本の数となります。 通常学級が13学級の場合、校長1人、副校長1人、教員19人、養護教諭1人、というのが基本の数となります。 通常学級が19学級の場合、校長1人、副校長1人、教員29人、養護教諭1人、というのが基本の数となります。
28	その他	閉校式や開校式は行いますか。	学校統合に伴い、閉校となる学校の閉校式や統合した際の開校式については、開催することを前提として進めていきます。
29	その他	意見交換会は一度だけですか。	今後も、保護者や地域にお住まいの方々とは統合に向けた意見交換会を継続していきます。